



忍耐を持って福音を広めます!

長津田みなみキリスト教会 牧師 油井 義昭

いつも長津田みなみキリスト教会のためにお祈りとお支援を心より感謝します。

「荒野に呼ばれる者の声がある。『主の道を整えよ。荒地で、私たちの神のために大路を平らにせよ。』」
(イザヤ書40章3節)

2013年11月10日に開拓教会がスタートしてから2年8カ月が経ちました。開拓伝道をして感じることは、人々のキリスト教についての無知と無関心、伝統宗教の存在と影響力の大きさです。韓国の宣教師は日本宣教の土壌を「劣悪な霊的環境」(金暎淑著『王様の招待』)だと言いましたが、その通りだと思います。開拓伝道の地は福音伝道が困難ですが、祈り、労苦を惜しまず、伝道の「地を縦と横に歩き回り」(創世記13:17)たいと願っています。

2015年9月の「歴史に生きたキリスト者に学ぶ—細川ガラシャ」に新来者3人、10月のバザーには大人26人、子供16人が来ました。クリスマスの集い(ミニコンサート)には新来者8人、2016年5月の「歴史に生きたキリスト者に学ぶ—広岡浅子」には新来者1人でした。6月のチャペルコンサートには新来者3人でした。教会学校も出席者ゼロの日が多いです。礼拝は24人位が集まっています。15年9月と16年3月にそれぞれ一人の受洗者が与えられました。6月の日本福音教会連合総会で長津田みなみキリスト教会の教会連合への加盟が承認されました。感謝です。しかしながら教会が開拓教会であることには変わらないので、皆さまの引き続きのお祈りをお願いします。開拓教会が荒地で主に喜ばれる伝道ができるようにお祈り下さい。

開拓への思い

ひろこ
片岡 裕子

キリスト教に何の関心もなく聖書を開いた事もなかった私でしたが、病院の帰り道、何故かこれまで歩いた事のない裏道を辿った時、目の前に教会が在りました。当時、自分の生き方を模索し悩んでいた私の乾いた心は、その後の学びにより、み言葉の愛で潤い、満たされ、受洗で救われました。正に主の導きであったと思っています。

今開拓に召され3年目になります。かつて私が抱いた悩み空しさなど、誰もが持つその重荷をイエス・キリストは共に背負い、休ませ救って下さる、この福音を一人でも多くの人に伝える事が開拓の使命であると思っています。教会の種々の活動に、主の導きを祈りつつ、私達はこれからも歩んでいきたいと願っています。

受洗して

しょうじ
金子 征士

35年暮した我家が教会となり、この私が洗礼を受けました。私に何があったのでしょうか。我家の売買時に見せて頂いた、油井先生はじめ役員の方々の熱意と行動力又、その人となりを感じ銘を受けました。

開所式にお招き頂き、礼拝に参加してからは、私も是非、此の群れの一員に加えてと欲しいとの思いになりました。油井先生のご指導を戴いて2015年9月6日に洗礼を授かりましたが、一瞬「ほっ」としたものの新たなスタートを踏み出した重みを痛感しています。

この様な私ですが、油井先生ご夫妻はじめ兄弟、姉妹皆様のお力添えを戴きクリスチャンとしての道を歩み続けていく所存ですのでご指導宜しくお願い致します。



2015年9月6日

私の入信の証し

はまむら めぐみ
濱村 恵

私は、昨年5月にこの教会に通い始め、今年のイースターにバプテスマを受けました。

牧師夫妻と一緒に聖書の学びをしていた時、使徒8章36節「ご覧なさい。水があります。私がバプテスマを受けるのに何か差し支えがあるでしょうか」という聖句を思い出し、「水は案外近いのかもしれない」と言いましたが、その通りになったと思います。

まだまだキリスト者として至らぬところがあると思いますが、主イエス・キリストと同様よろしく願いたします。



2016年3月27日



＜教養セミナー ―歴史に生きたキリスト者に学ぶ―＞に参加して

第4回「細川ガラシャ」

八木 律子

細川ガラシャ夫人との出会いは、今から40数年前、三浦綾子さんが「細川ガラシャ夫人」という本を出版された時です。その一冊を伝道の為の主人の母にプレゼントしました。

今回は、油井師の綿密な調査研究により、夫人の38年の生涯が鮮やかに描き出されました。夫人は明智光秀という謀反人の娘であるという理由で殺されるどころを、その美貌と聡明さにより夫の細川忠興に愛され、命を助けられました。けれども心の苦しみは大きく、その時そばに居たのは、清原佳代という主を信じる女性でした。その後、高山右近、セスペデス神父、コスメ修道士により主を信じ、大きく変えられました。人との出会いは神様のご配慮、ご計画の御手の中にあるとしか言いようがないものでした。

夫人は周りの多くの人々を主に導き、400年後の今も多くの人々に、そして義母に主を証して下さっています。義母は95歳で主を信じ、油井師より受洗し、99歳8ヶ月で御国に召されました。主の御名をほめたたえます。

第5回「広岡浅子」

長尾 友圭里

NHK朝の連続ドラマで話題となって初めて広岡浅子の存在を知りました。

豪商の家で何不自由なく育ちながら、「女子に学問は不要」というしきたりに疑問を覚え、現実をしっかりと見つめ、固定概念に捉われず、開拓精神に満ちた姿勢を貫いた生き方に驚嘆しました。実業家、教育者として社会に大きく貢献した話、60歳で癌の手術後に神の偉大な力を感じた話、教育者 成瀬仁藏、宮川牧師との出会いを通して受洗に至る話など、神の大きなご愛とご計画を感じました。幼子のように神を求める心、謙虚な姿勢は70歳で召天するまでの10年間変わることはありませんでした。キリスト者として学ぶことの多いセミナーでした。



＜行事予定＞

- 8/28 (日) 教会学校 アイスクリームパーティ
- 9/11 (日) 第6回教養セミナー
―歴史に生きたキリスト者に学ぶ―「杉原千畝」
- 10/22 (土) バザー
- 12/23 (金) 子どもクリスマス会、クリスマスの集い
- 12/25 (日) クリスマス礼拝

＜教会学校 報告＞

長津田みなみキリスト教会の教会学校が始まって、2年半がたちました。現在つながっている子どもが6人とありますが、出席が安定せず、0人のことも多い状況です。地域の子どもが、日曜日の朝9時から教会に来ることは難しいことですが、主の御導きをいたさながら、教会全体で取り組んでいるところです。子どもたちや背後のご家庭が、福音の素晴らしさを知ることができそうです、お祈りいただけたら幸いです。

＜2015年度 会堂会計＞

会堂献金	約 480万円 (うち、外部から約250万円)
教会債返済	500万円
残債	1960万円
期末残高	約 260万円

教会債返済のために、なお多くの必要がありますので、今後とも献金をご検討下さいますようお願い致します。

～祈りの課題～

1. 長津田南部の地域伝道のために。
2. 教会学校に子どもが与えられるように。
3. 教会堂購入費(教会債1960万円)の返済のために。
4. 教会連合加盟教会としての歩みのために。

いつもお祈りと献金で支援して下さい、心より感謝いたします。



＜交通アクセス＞



発行者：長津田みなみキリスト教会ニュースレター発行委員会
連絡先：〒226-0028 神奈川県横浜市緑区いぶき野 23-16
TEL&FAX： 045-532-5572
Eメール： nagatsuda.minami@gmail.com
ホームページ：
<http://www.nagatsutaminamichurch.com>
献金窓口：郵便振替 00210-7-51559

